



## 日本グランプリシリーズ 新潟大会

# ATHLETICS CHALLENGE CUP 2022



### 新型コロナウイルス感染症対策および撮影規制について

#### 新型コロナウイルス感染症対策および写真撮影の規制について

本競技会は「陸上競技活動再開についてのガイダンス」ならびに「アスレチックスチャレンジカップ2022 新型コロナウイルス感染症対策および写真撮影規制について」（別に定める）に準拠し競技会運営を行います。

●陸上競技活動再開についてのガイダンス：日本陸上競技連盟HP <https://www.jaaf.or.jp/on-your-marks/>

参加者および来場者の皆様は上記ガイダンス・指針へのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、今後ガイダンスの更新に当たり、大会要項を変更する可能性がございます。予めご了承ください。

#### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

日本グランプリシリーズ新潟大会「Athletics Challenge Cup 2022」では、以下の通り、安心・安全な大会な大会運営ができるよう社会情勢に応じた感染症対策を講じて参ります。

##### 1) 入場規制の実施

観客数は上限6000名として、参加選手・チーム関係者・競技役員・補助員・報道関係者等デンカビッグスワンスタジアム（施設内）の入場数を10000名以下とする。  
※今後の感染状況によって対応が変更となる場合がある。

##### 2) 来場における体調記録管理

本競技会では「テレサ-体温記録活用アプリ-」を用いて事前の体調チェックを1週間前より行い、体調に不安のある方は事前に連絡を取れるよう連絡体制の構築を行うと共に、入場履歴・管理を徹底する。

##### 3) 来場者全員の検温の実施

全ての来場者を対象に当日検温を実施し、発熱や明らかな体調不良が確認された場合、入場を認めないことがある。

##### 4) 飛沫拡散の防止

来場にあたってはマスクを常時着用すること。（出場選手のウォームアップおよび試合中を除く。）  
また、声を出しての応援や集団での応援、大声・近距離での会話を避けること。

##### 5) 手指消毒

各所に備え付けのアルコール消毒液・手指洗浄剤で手指消毒をすること。

##### 6) 密集の回避

選手待機エリアと観戦エリアを設け、観戦者の選手待機エリアへの立ち入りを禁止する。  
練習場・招集所・競技待機エリア等については競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。

##### 7) 飲食の制限

会場内で飲食を行う場合、ソーシャルディスタンスを確保し、会話を行わない。

※ 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（一般財団法人新潟陸上競技協会）に報告すること。

## 2 写真・ビデオ撮影に関する規制について

本大会では、すべての競技者が安心して競技に集中できる環境整備のため、迷惑撮影防止策をとっております。

撮影を行う際は以下の点にご留意いただき、趣旨のご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。

- 1) スマートフォン以外の撮影は、**競技者・チーム関係者・大会関係者・競技役員・報道関係者・来賓**及び入場時に**撮影許可証の発行を行った観戦者**に限らせていただきます。

【競技者・チーム関係者・大会関係者・競技役員・報道関係者・来賓】

ADカードの着用

【観戦者(優待・一般)】

- ① 入場時撮影希望窓口にて検温(AI) → テレサ → 身分証確認 → 許可証発行
- ② 撮影許可証にはその場で日付・名前を記入し、衣服の見えるところに添付すること。



- 2) 競技中のフラッシュを使用しての撮影はご遠慮ください。
- 3) 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのあるすべての方向からの撮影を禁止します。

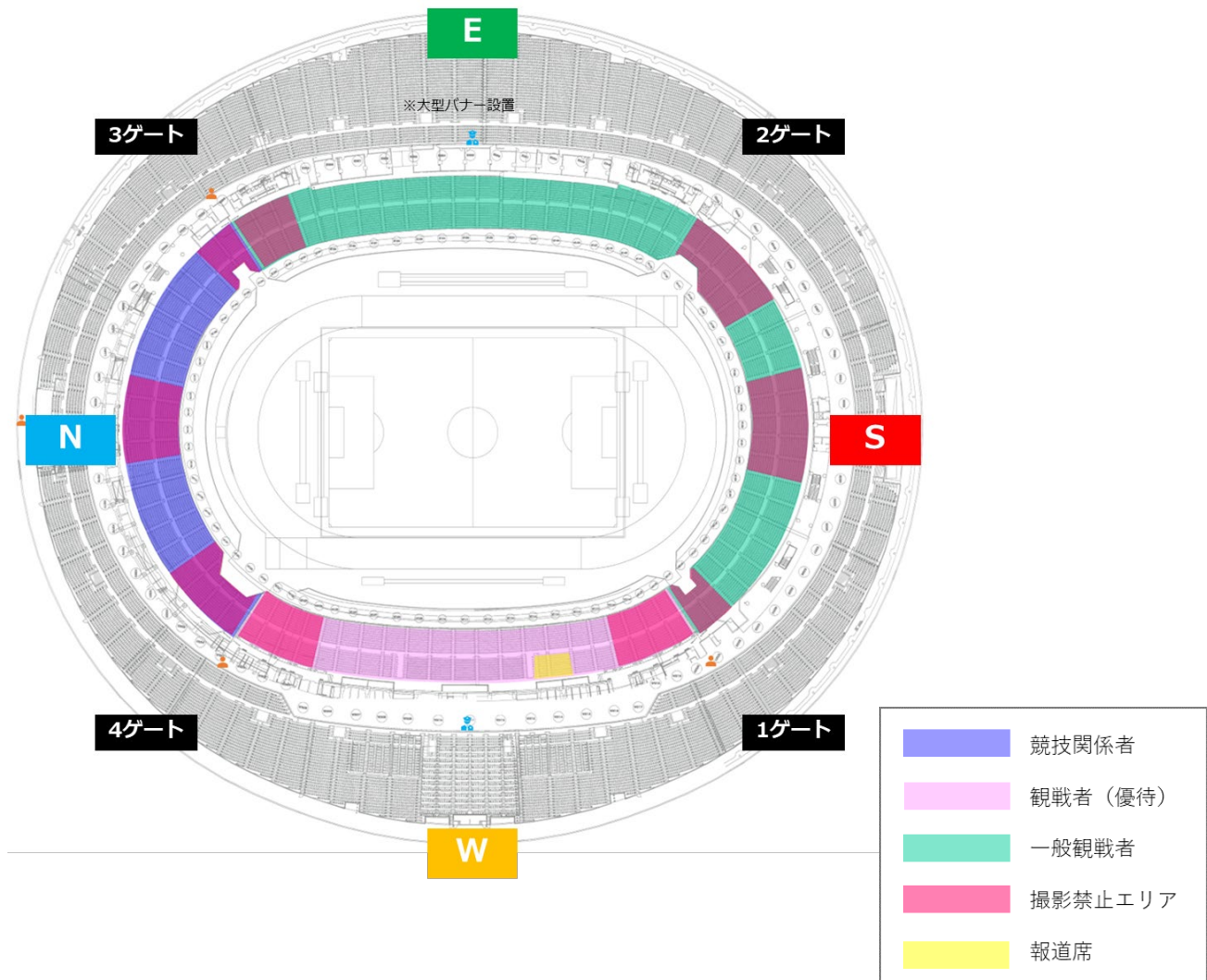
本大会では「撮影禁止エリア」を設けています。

報道ビブスを着用している報道関係者以外は、AD着用・撮影許可証の添付の有無に関わらず、禁止エリアでの撮影は一切禁止となっております。

- 4) 競技と全く関係ない目的での撮影、身体の一部をアップしての撮影、透過撮影、その他迷惑行為はおやめください。

※ 撮影者は主催者による撮影内容の確認要請があった場合は確認に応じること。

※ 悪質と判断した場合は、関係機関に通報します。



※ 撮影禁止エリア ※

- トラック競技スタート前方・後方
- トラック種目フィニッシュ後
- 走幅跳助走スタート・着地
- 走高跳・やり投助走スタート